

小林市議会「みんなで語ろう会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	小林小学校区	担当班	議員名	担当
参加人数	17 名（男 13 名 女 4 名）		溝口 議員	司会進行
開催日	令和元年 7 月 28 日（日）		時任 議員	活動報告（総務文教）
開催時間	午後 7 時 00 分～8 時 30 分			（経済産業）
会場	中央公民館			（市民厚生）
その他			原 議員	（広報広聴）
			西上 議員	（総務文教）
		1 班	三好議員・舞田議員	記録・報告書作成

◎班代表者 時任 議員

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
テーマ①	市民が利用しやすい地域交通のあり方について		
【意見交換の概要】 □福祉タクシー料金助成ということで 1 枚につき 500 円の利用券が出ており、福祉タクシーの利用率は上がっている。利用者は近隣と遠方では利用する距離に差があり、不公平感がある。使い勝手のよいタクシー券は考えられないか。 □ほかの地域のタクシー券の使い方について、協議をお願いしたい。 □地域の実情を考えたコミュニティバスの運行はできないかを考えてほしい。 □コミュニティバスについて、市内にある4業者（福祉タクシー業者、宮崎交通(株)、三和交通、こばやし交通）で協議・検討することはできないか。 ■現状の改善等、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。 □コミュニティバスは利用者が少ない。利用者の多い時間帯への変更はできないか。 ■無駄のない運行等、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。 □九州管内（福岡市）ではタクシー券が 48 枚のところもある。小林市は財政的に無理だと思うが、障がい者も利用できる宮崎交通(株)のノンステップバス3台の方法もあるのでは。ガソリン代程度負担の送迎バスの検討ができないか。 □予算限度を前もって知らせ、議論しないと無駄が多い。議論にならない。予算枠を決めて、できる範囲で小型バスを小回りに走らせてほしい。 ■総合的な見直し等、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。			

テーマ②	まちづくり協議会について
【意見交換の概要】 □行政側から事例やポイントを報告してから意見を求めてほしい。立ち上げれば補助金をもらえると考えている人が多い。補助金の使い道がわからない。 ■地域の方から意見として出していただき、当局へ回答を求めてもらいたい。 □市のほうから提案してほしい。こちらから相談したわけではない。まちづくりの基本、30年後のあるべき姿を行政が理想とする方向性を示してほしい。 ■方法はいろいろあると思う。行政が理想とする方向性を示すよう議員間でも討議し、地域の意見を伝えていく。 □これまでのまちづくり協議会が設立された地域に、市はどれくらい予算を出したのか教えてほしい。小林小学校区にはどのくらい予算を出す予定か。 ■事務費と運営費で合わせて年間約 500 万円だが、小林小学校区は区も人数も多いのでまちづくり協議会のあり方を当局と協議してほしい。	

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
<u>自由意見の交換</u> □小林市はビジョンがない、小林一本でまちづくり、ビジョンを作らないとダメ。近隣市町村との連携が足りない。 ■現在、まちづくり基本条例の基本計画をもとに進めている。 □日南市にはたくさんの企業がきている。女性が千葉県から来て1人で農業をしている。対外的に訴え方が足りない。発想を大切に。まちづくりは夢を持ちましょう。 ■発想や想いを大事に取り組み、小林市のアイデンティティをどう育てていくのかというのも今後求められてきている。 □議員も含めて長期ビジョンを考える「市民と行政の語らいの場」を設けるべき。 ■まずは知ったり、知らせたりすることが大事。一朝一夕にはいかないが、市民と行政、議員の果たす役割は重くなっている。			
<u>議会活動報告への意見</u>			